【平成２９年度　狛江第一中学校　学校経営計画】

校長　樋口豊隆

１　目指す生徒像

狛江で育ち、狛江第一中学校で学んだことを生涯の誇りにできる生徒

２　経営理念

不易と流行の視点から、変わってはならない中学校教育の価値を見据えたとき、学校は「日常」の日々の地道な「営み」にこそ価値がある。

中学校教育は「自分の生き方、人間としての在り方」を学ぶことが本質的な目的である。自らの生き方を実現するために基礎的基本的な学力を身に付ける。

自らの生き方や人としての在り方を学ぶために、学級、学年、生徒会、部活動などの教育活動で人権感覚や規範意識を高める。

３　基本方針

（１）教育目標；**向上**・・学び合い　**敬愛**・・思いやり　**共生**・・責任

（２）生徒像；１公正な判断力と授業等への集中力　　２『挨拶・時間・美化』の実践力
　　３人のために行動する力　　４対人関係調整能力　　５困難に耐える力

（３）教師像；１生徒理解力（良さを見つけ認める）
　　２教科専門力（教科の専門家としての使命感と情熱と実践力）
　　３生徒・保護者の信頼（寄り添い　共感）
　　４教育公務員として責任（組織貢献力等）

（４）指導の重点

自尊感情や自己肯定感を高め、自信　やる気　確かな自我を育む教育活動の推進
～自分を他者との関わり合いを通してかけがえのない存在、価値ある存在としてとらえる気持ちを育てる～

○自尊感情を高め、学習意欲や基礎的基本的な学力の向上を図る。
「やった」「わかった」「できた」という学習の成就感
→「もっと学びたい」「学ぶことは楽しい」という意欲の向上

○（本年度、特に重視する内容）**自尊感情の向上を基盤とした人権感覚の向上**
自分の大切さと共に他の人の大切さをみとめることが、知識理解だけでなく態度や行動に現れるようにする。
→自他の生命を尊重できる力
→「いじめ」を許さない意思と「いじめ」をなくす行動力

○人権教育推進としてのオリパラ教育の推進
「関わり合い　認め合い　つなぎあう」

（５）校内研修

○研究主題　「自尊感情や自己肯定感を高める指導の工夫～全教育活動を通じて～」
・生徒理解に基づく授業力の向上（自尊の視点を入れた指導案の継続）
・ハイパーＱＵアンケートと東京都版自尊感情測定尺度を活用した生徒理解の継続

４　教育課程・・・授業時数確保

（１）人権教育（生命尊重と共生）
①いじめ防止基本方針に基づく、いじめの未然防止・早期発見・早期解消
生徒会活動ホワイトリボン運動の小中連携の継続・発展）
②「夢　家族　命」を重視し、道徳授業地区公開講座・道徳授業の継続
③体罰等の根絶（教師・生徒ともに暴言・暴力を許さない　言語環境の整え）

（２）特別支援教育

①特別支援学級交流（授業と行事）個別指導計画の作成　副籍における直接交流の充実
②通常の学級での対応とくすのき学級との一層連携及び巡回支援の一層の活用
③１組での人型ロボット「ペッパー」の活用による特別支援教育での「ペッパー」の有効性の検討

（３）学習指導
①授業改善（授業の理解、授業の中での楽しさ、認め合い・学び合いのある言語活動）
基礎基本の徹底（ＩＣＴの活用　繰返し学習・反復学習　グループ学習等の実践）
②『成果と課題が分かる評価』

指導と評価の一体化、説明責任のもてる評価の伝え方の工夫
定期テスト　観点別問題作成と表示、関心・意欲・態度の評価に関する工夫
③少人数学習集団による指導の継続　（数学　英語）
④『授業秩序』　授業内生活指導（褒める認める叱る）
⑤学習状況調査の活用（国都市）、各種検定・コンクール等募集に参加し、自信を付けさせる指導。
⑥指導評価計画作成　４月保護会で説明責任をもつ。
⑦学習支援　夏期休業等の学習教室、生徒会主催のテスト前学習、家庭学習リーフレットの改善充実
⑧言語活動の充実　各教科のねらいを達成するとともに自尊感情を高める言語活動の工夫
⑨大学生等を活用した学習支援（夏季学習教室や定期考査前学習相談）。学習教室や学習習慣の確立。
⑩スーパーアクティブスクールの取組の全校への拡大
保健体育、運動部活動、１組の体力向上と自尊感情の向上の研究
⑪自尊感情や自己肯定感を高める教科等横断的なカリキュラム・マネジメント

（４）生活指導
教員への高い信頼意識を保持継続するため、生徒の心に届ける指導の推進
①全校一致の指導推進　約束事の確認、共有化と共通理解
『挨拶　美化　時間』推進
②個別の課題把握・分析・具体的対応と指導
１年生面談４月実施、生徒理解研修実施　日常的な情報交換
③不登校生徒への柔軟な対応　きめ細かい家庭連絡　ＳＣ・ＳＳＷ・支援員の積極的な活用
④事故・事件・苦情　迅速・的確・誠実な対応

（５）進路指導・進路相談
生き方在り方、自尊感情を高めるキャリア教育の推進
進路相談（４月、７月、１１月、１２月）
職場調べ（１学年）と体験学習（２学年３日）

（６）「特別な教科　道徳」（夢　命　人への関わりの重視）
「特別な教科　道徳」と他教科等との接続

（７）『一中の総合』（自らの生き方を考える・今をみつめ明日を創る）
Ｈ１４年度から継続・一中の総合の発表会（追究とプレゼン能力の充実）

（８）特別活動（感謝される体験の重視　自尊感情の向上）
体育祭　合唱祭　ロードレース　作品展
生徒会活動の重視（一中生徒会に誇りをもたせる）
生徒会朝礼　ふれあいフェス　挨拶運動と週番活動、ホワイトリボン（いじめの解消取組み継続）　特別支援学級と通常の学級交流の工夫

（９）小中連携の具体的方途
公開授業参観　授業・生徒会交流　研究会参加等

（１０）環境教育
美化活動重視を日常の清掃活動工夫、桜の花びら・落ち葉清掃、多摩川清掃等で実施し、地域への貢献する活動として展開

５　組織運営

（１）ＯＪＴ推進
①校務分掌；職務分担と責任　組織力・チーム力　　二人担任制
②主幹・主任の計画実践と進行管理　文書管理・事案決定徹底　報告連絡相談
③学年・学級経営；実態把握と重点設定（具体的手立て）連携　評価
④人事考課；自己申告に基づく自己実現をめざすキャリアプラン

（２）諸会議；運営委員会　職員会議　教科部会　分掌部会の効率化

（３）保護者・地域に開かれた学校
授業参観（土）と公開授業週間５回
ふれあいフェスティバルと地域行事への参加

（４）学校評価；評価計画、自己評価、生徒保護者評価、学校関係者評価、第三者評価

（５）服務厳正；体罰（暴力と暴言）の根絶　交通事故　セクシュアル・ハラスメント
勤務時間　出勤簿　週案簿　名札　服装　会計処理等

（６）夏季休業短縮（８月２８日～授業）